

小規模多機能型居宅介護サービス評価

2022年度

NPO法人 宅老所 心
小規模多機能型居宅介護事業所ころね

- ・事業所自己評価
- ・小規模多機能型居宅介護「サービス評価」
総括表



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10	3		14

前回の改善計画	
	・本人との会話の中で不安に思われている話を聞き取った時は記録し、家族にもさりげなく確認して不安を取り除けるような支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・傾聴し必要なことは記録に残している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	9	1		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	8	4		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	5	5		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	10	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に基本情報やアセスメントシートを作成、暫定的な支援の方向性を朝礼やスタッフ会議で伝達できるようにしている。 ・新規の方が通所、関係づくりができるようミーティングをもつことができた。 ・顔の表情、声のトーンから共感、理解できるようにした。 ・傾聴し必要なことは記録に残している

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の不安を聞き出せているかわからない ・必要な支援が本人の思いでなく家族や支援者の思いや考えを優先してしまう場面がある ・ケア記録に記入できない ・本人と家族の思いが正反対だと知っていながら本人の前では曖昧な言葉を使い支援することがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・できる限り本人、家族の思いを聞き記録に残す。その中からミーティング等で支援の在り方を話しスタッフが共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		5	8	1	14

前回の改善計画

- ・勉強会等でライフサポートプランについて数名ずつでも周知していく (継続)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・数名はできたが、勉強会の中でライフサポートプランについての時間がとれなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6	5	2	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	6	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	7	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		8	5	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・一部の利用者の目標は理解できている
- ・勉強会の中で話し合った方の目標は周知できている
- ・本人の目標に近づけるように残存能力を活かした援助に心がけている
- ・本人の希望や思いを自ら又はスタッフより聞き取り必要に応じプランに反映、実施している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・勉強会の中でライフサポートプランについての時間がもてていない
- ・コロナ禍で話し合いの時間がもてない
- ・漠然とした目標は解っているが個々の目標を理解した関りができていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・コロナ状況にもよるが利用者全員分のサポートプランを話し合える時間をもつ。計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

3. 日常生活の支援

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM(14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	4	1	14

前回の改善計画	・勉強会で数名づつでも本人について話し本人を知る意識をもつ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・勉強会では少しの人しかとりあげることができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	2	7	3	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	5	3		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	2	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	7			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	5	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・食事、入浴、排せつ介助は個々にあった方法(残存能力の活用)で行われている ・その人の体調の変化や食事形態、服薬変更など皆で共有することができた。 ・その都度の支援の仕方など関わったスタッフから聞いて伝達することができた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会では少しの人しかとりあげることができなかった ・チームとして皆が共通認識できていないことがある ・以前の暮らし方についてはあまり把握できてない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ状況にもよるがスタッフが共通認識できるように利用者全員分のサポートプランを話し合える時間をもつ。計画する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	8	2	14

前回の改善計画
 ・勉強会で利用者本人について話した時に、本人の地域資源についても話し合う。ライフサポートプランにも反映する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・勉強会では少しの人しかとりあげることができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	3	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8	5	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	5	4	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・同居の家族に送迎時に少しでも会話するように心がけている
 ・地域資源が必要な方については知ることができた。
 ・地域の中でのその人の役割や立場を知り場合によっては自治会の役員や民生委員への挨拶をしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・民生委員、社会資源が把握できない
 ・地域資源の利用が難しい
 ・場合によっては地域との繋がりが乏しくなっていくこともある

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・地域資源の活用が必要な方についてサポートプランを通して話し合う時間に理解する。
 ・今後 地域資源の活用が必要な方について考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	4	1	14

前回の改善計画

- ・勉強会で利用者本人について話した時に、本人の地域資源についても話し合う。ライフサポートプランにも反映する

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・勉強会では少しの人しかとりあげることができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	4	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	5	1	1	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	8		1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	7		1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・その時に合わせて臨機応変に対応できている
- ・コロナ禍で中止になっていることも多いが地域サロン、百歳体操、配食サービス、見守りサポートの事業も活用している。
- ・本人の変化に気づき、訪問を増やしたり通いを変更する理由など共有できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・勉強会で地域資源について話すことができていない
- ・夜間訪問や急な宿泊ニーズの対応が難しいことがある
- ・本人の地域資源について理解できていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域資源の活用が必要な方についてサポートプランを通して話し合う時間に理解する。
- ・今後 地域資源の活用が必要な方について考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

6. 連携・協働

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	2	2	14

前回の改善計画

- ・コロナウイルスが落ち着けば「笑食会」「さんでーかふえ」を開催したい。
- ・地域イベントにも参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・コロナ禍で事業所内での集まりができないため、屋外で地域の方が作った野菜を集めバザー（昼市）をおこなった。
- ・地域のイベントはコロナで中止

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	4	1	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	4	3	4	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	3	7	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	7	2	4	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・サービス機関との会議は管理者、ケアマネが参加している
- ・ハロウィンでは近所の子どもが来てくれた（おやつを準備していた）
- ・コロナ禍で事業所内での集まりができないため、屋外で地域の方が作った野菜を集めバザー（昼市）をおこなった。
- ・地域の方が育てた花や、いす足カバーを作ってくださった
- ・草刈り、溝掃除に参加

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍で地域の方を招いての催し（笑食会、さんでーかふえ）ができなかった。
- ・地域のイベント（百歳体操）が中止のためさんかできなかった

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・コロナ禍でもできること（こころね昼市）を企画運営する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

7. 運営

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		2	2	10	14

前回の改善計画
 ・コロナウイルスが落ち着けば「運営推進会議」にて地域、家族から直接意見を聞き対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・運営推進会議は書面での開催にて「直接」ご意見を伺うことができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	3	7	3	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	1		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	2	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	6	3	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・スタッフ会議等で意見を聞いている
 ・山田学区社協とフレンドシップ協定を結んでいる
 ・AED利用協力事業所に指定。地域の消火器を設置している
 ・コロナ禍で事業所内での集まりができないため、屋外で地域の方が作った野菜を集めバザー（昼市）をおこなった。地域の取材もしていただいた。
 ・家族、利用者からの苦情はスタッフ会議で共有、改善している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・運営推進会議は書面での開催にて「直接」ご意見を伺うことができなかった
 ・コロナ禍で集まることができない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・コロナウイルスが落ち着けば「運営推進会議」にて地域、家族から直接意見を聞き対応する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	7	3	1	14

前回の改善計画
 ・ヒヤリがあった時は、その日のリーダーに報告。ヒヤリ記入の時間を作ってもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・ヒヤリ、事故報告はその日のうちに提出することができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	3	5	3	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1		4	9	14
③	地域連絡会に参加していますか		1	4	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	7	3	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・リスクマネジメントの共有（会議で報告）
 ・勉強会の開催
 ・新人 介護研修の実施
 ・感染対策研修

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・コロナ禍で外部研修を受ける機会が少ない
 ・コロナ禍で勉強会も毎月実施できていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・コロナ禍でも受講できる研修（リモート等）に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年2月

9. 人権・プライバシー

メンバー 山中、畑佐、上村、末谷、入本、丸山、藤谷、橋内、多田、飯谷、太田、西川NS、鈴木NS、松谷CM（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6	8			14

前回の改善計画	・トイレ時、脱衣場に入るときはプライバシーに配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・トイレ、脱衣所に入るときは自然とプライバシーの配慮ができるようになった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	1	1		14
②	虐待は行われていない	14				14
③	プライバシーが守られている	6	8			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	4		1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	6	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待はない ・トイレ、入浴時のプライバシー確保 ・本人からの訴えやスタッフの観察、家族からの話から虐待が疑わしいケースについては通報し市、地域包括と共同でサポートしている。 ・成年後見制度を活用し本人の資産運営や今後の暮らしについてサポート体制が整った ・どのような支援においても尊厳を考え行動するように心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・訪問時、利用者宅でプライバシー保護の配慮ができていないことがあった。 ・記録する場所が不適切なときがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・訪問時のプライバシーについて考える時間をもつ	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	利用者と地域の方がふれあいを持てるように、また地域の方に事業所のことを知ってもらい、気軽に寄って頂けるように年3回の「笑食会」を行っている。 また、日曜日には「かふえ」を行い地域の方の憩いの場になっている。 スタッフがオリジナルゲームを考え利用者と一緒を楽しんでいる、笑顔が絶えない事業所です。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所ころね	管理者	山中 一矢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・引き続き全員で取り組む	全員で取り組めた。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・引き続き全員で取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	・コロナがおさまれば、掲示板を活かし、便りやPR事項を掲示する	掲示板で昼市開催のお知らせ、調理員募集など活用することができた。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・コロナがおさまれば、掲示板を活かし、便りやPR事項を掲示する
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナがおさまれば、笑食会、さんでーかふえを続け、町内の方が来て頂けるような仕組みを作る。	新たに屋外でできる「ころね昼市」を開催した。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・昼市のようなコロナ禍でもできることを検討する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・コロナがおさまれば、「100才体操」「喜楽会」に利用者と一緒に参加する	コロナ禍のため参加せず。現在、休止中。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・コロナがおさまれば、「100才体操」「喜楽会」に利用者と一緒に参加する
E. 運営推進会議を活かした取組み	・コロナがおさまれば、地域福祉連携会議（運営推進会議）で、地域の困っていることを課題にあげ、出席者で共有する。	地域福祉連携会議はコロナ禍のため書類のみの開催となった為、直接意見等を聞ける機会ができなかった。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・コロナがおさまれば、地域福祉連携会議（運営推進会議）で、地域の困っていることを課題にあげ、出席者で共有する。
F. 事業所の防災・災害対策	・一人暮らしの方の一時避難場所の確認と把握をする。	山田学区内は確認ができたが、学区外の確認ができなかった。	コロナ禍で運営推進会議を行えず来所がなかったため回答を得なかった。	・一人暮らしの方の一時避難場所の確認と把握をする。